



2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 OATアグリオ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4979 URL https://www.oat-agrio.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡 尚
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 重内 俊之 TEL 03-5283-0262
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	15,476	△9.0	1,486	15.5	1,334	28.4	767	32.2
2019年12月期第3四半期	16,999	40.4	1,287	△40.8	1,038	△52.8	580	△62.4

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 744百万円 (△349.4%) 2019年12月期第3四半期 △298百万円 (△120.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	141.73	—
2019年12月期第3四半期	107.22	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 2019年12月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2019年12月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第3四半期	29,339	7,320	22.4	1,211.68
2019年12月期	29,724	6,807	20.5	1,124.13

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 6,557百万円 2019年12月期 6,083百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,779	△0.6	1,405	30.5	1,259	50.3	613	—	113.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大しており、今後の業績に与える影響について、現時点では未確定要素が多いことから、2020年12月期の通期業績予想及び期末配当予想は据え置いております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	5,536,000株	2019年12月期	5,536,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	124,000株	2019年12月期	123,954株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	5,412,046株	2019年12月期3Q	5,412,135株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第3四半期連結累計期間に関連する指標については暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額に基づいて記載しています。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2020年1月1日～2020年9月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による世界的な経済活動の停滞により大幅に悪化しました。緊急事態宣言の解除後、経済活動は緩やかに再開されましたが、7月には感染拡大の第2波の兆候が表れるなど、いまだ収束の目途は立たずに不透明な状況が続いております。

こうした状況の下で、当社は丸善薬品産業株式会社との業務提携により、生産者重視の営業体制の構築に取り組んでおります。また、国内では葉面散布肥料のリニューアル、新規液体肥料の発売、海外では主力3剤（ダニサラバ・カリグリーン・アトニック）に注力して活動を進めております。さらに、研究開発では新製品上市、既存製品改良改善により市場の拡大を図っております。

このような経営環境の下で、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は、国内では、農薬競合メーカーの影響を受けたことや、清算手続き中である連結子会社の活動縮小により販売が減少しました。また海外では、オランダのBlue Wave Holding B.V.が、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、花卉の需要低下の影響を受けて販売が減少しました。以上の要因により前年同四半期比で減少しました。一方、営業利益については、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定に伴う一過性のたな卸資産評価額の費用負担が解消したことにより前年同四半期比で売上原価が減少したこと、および販売管理費が減少した結果、前年同四半期比で増加しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は154億76百万円（前年同四半期比15億23百万円減少、同9.0%減）、販売費及び一般管理費は58億52百万円（前年同四半期比2億12百万円減少、同3.5%減）となり、営業利益は14億86百万円（前年同四半期比1億99百万円増加、同15.5%増）、経常利益は13億34百万円（前年同四半期比2億95百万円増加、同28.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億67百万円（前年同四半期比1億86百万円増加、同32.2%増）となりました。

なお、当社グループの第1四半期及び第2四半期連結会計期間の経営成績は、国内農薬事業を中心に需要盛期に備えた出荷が集中するため、売上高及び営業利益等が他の四半期会計期間と比較して多額となる傾向にあります。

当社グループはアグリテクノ事業の単一セグメントであります。各分野別の業績につきましては以下のとおりであります。

農薬分野においては、国内農薬市場では、当社が注力している植物油由来の殺ダニ剤「サフオイル」の売上高が増加しましたが、競合農薬メーカーの新規殺虫剤等の影響を受けて殺虫剤「ハチハチ」、「オリオン」、殺ダニ剤「ダニサラバ」などの売上高が減少いたしました。また、海外農薬市場では、販売戦略の見直しに伴い殺虫剤「オンコル」の売上高が減少しました。これらの結果、農薬分野全体の売上高は75億26百万円（前年同四半期比9億94百万円減少、同11.7%減）となりました。

肥料・バイオスティミュラント分野においては、LIDA Plant Research, S.L.の売上高がグローバルに伸長しましたが、オランダのBlue Wave Holding B.V.の売上高が減少したこと、および「アトニック」の販売が低調に推移したことにより、肥料・バイオスティミュラント分野全体の売上高は79億50百万円（前年同四半期比5億28百万円減少、同6.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億85百万円減少し、293億39百万円となりました。これはのれんの減少3億47百万円、現金及び預金の増加11億31百万円、商品及び製品の減少5億8百万円、受取手形及び売掛金の減少3億97百万円が主な原因です。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ8億98百万円減少し、220億18百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金の減少9億26百万円、短期借入金の増加98百万円、長期借入金の増加70百万円が主な原因です。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ5億12百万円増加し、73億20百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上7億67百万円、剰余金の配当2億16百万円、為替換算調整勘定の減少1億27百万円が主な原因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症が世界的な拡大をみせており、今後の政府の対応や顧客の購買動向等、業績に影響を与える未確定要素が多く、現時点で適正かつ合理的な業績予想の算出が非常に困難であります。よって、2020年12月期の予想につきましては、2020年2月14日に公表いたしました2020年12月期の業績予想を据え置くことといたしました。今後、外部環境の推移や事業の進捗状況等を踏まえて、合理的な算定が可能となり、開示が必要と判断された場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,414	4,545
受取手形及び売掛金	5,084	4,686
商品及び製品	3,041	2,533
仕掛品	490	477
原材料及び貯蔵品	1,647	1,558
その他	784	964
貸倒引当金	△26	△39
流動資産合計	14,436	14,726
固定資産		
有形固定資産	4,047	3,741
無形固定資産		
のれん	6,848	6,500
顧客関係資産	2,878	2,769
その他	417	388
無形固定資産合計	10,144	9,658
投資その他の資産	1,095	1,212
固定資産合計	15,288	14,613
資産合計	29,724	29,339
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,418	1,491
短期借入金	6,991	7,089
未払法人税等	297	308
賞与引当金	30	119
売上割戻引当金	38	149
返品調整引当金	17	16
損害賠償引当金	137	48
その他	1,966	1,756
流動負債合計	11,899	10,981
固定負債		
長期借入金	9,150	9,220
退職給付に係る負債	244	206
繰延税金負債	942	984
その他	681	625
固定負債合計	11,017	11,037
負債合計	22,917	22,018

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	461	461
資本剰余金	2,410	2,410
利益剰余金	4,059	4,609
自己株式	△162	△162
株主資本合計	6,769	7,319
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	29
為替換算調整勘定	△671	△799
退職給付に係る調整累計額	△19	7
その他の包括利益累計額合計	△685	△762
非支配株主持分	724	763
純資産合計	6,807	7,320
負債純資産合計	29,724	29,339

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	16,999	15,476
売上原価	9,647	8,136
売上総利益	7,352	7,339
販売費及び一般管理費	6,065	5,852
営業利益	1,287	1,486
営業外収益		
受取利息	14	12
受取配当金	6	8
受取技術料	42	—
持分法による投資利益	10	12
その他	19	22
営業外収益合計	94	55
営業外費用		
支払利息	194	155
支払手数料	76	0
為替差損	41	41
その他	30	10
営業外費用合計	342	208
経常利益	1,038	1,334
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	1	2
関係会社株式評価損	15	—
減損損失	—	12
子会社清算損	—	8
特別損失合計	16	23
税金等調整前四半期純利益	1,022	1,312
法人税、住民税及び事業税	654	547
法人税等調整額	△245	△70
法人税等合計	408	476
四半期純利益	613	835
非支配株主に帰属する四半期純利益	33	68
親会社株主に帰属する四半期純利益	580	767

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	613	835
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29	23
為替換算調整勘定	△940	△141
退職給付に係る調整額	△1	27
その他の包括利益合計	△912	△90
四半期包括利益	△298	744
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△291	690
非支配株主に係る四半期包括利益	△7	54

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

新型コロナウイルス感染症の影響については、今後の広がり方や収束時期等についての不確定要素が多いものの、当社グループでは入手可能な情報等を踏まえ、一定期間にわたり影響が継続すると仮定し、固定資産の評価等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、アグリテクノ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。